



バイアスロン女子リレーで銅メダルを獲得した日本チーム(左から2番目が大和田いつか選手)

第7回冬季アジア大会女子バイアスロン

大和田いつか銅メダル

第7回冬季アジア競技大会は1月30日から2月6日までカザフスタンのアルマトイなどで行われ、バイアスロン競技に出場した八幡平市出身の大和田いつか選手(30歳、自衛隊が女子リレー(6人×4人)で銅メダルを獲得しました。

個人種目の悔しさをリレーでぶつける

大和田選手は大会2日目、7・5キロスプリント(2・5キロ×3周)に出場しましたが、「走り体が動かず、最悪のレースだった」と振り返るとおり、26分12秒0(ベナルティール)で8人中6位に終わり、彼女が得意とするインディビデュアル(女子の場合は、3キロを5周し、伏射、立射、伏射、立射の順で計4回の射撃を行い、外した弾1発につき走行タイムに1分加算される種目)の出場メンバーから外されました。

最終種目のリレー(6人×4人)では、第2走者として、伏射、立射を全て命中。チーム最高となる21分17秒7のタイムで、順位を2位に押し上げ、銅メダル獲得に貢献しました。

目標は2014年のソチオリンピック

大和田選手は今シーズン、ワールドカップの出場メンバーに入り、世界を舞台に戦っています。これまで第1戦から6戦に出場。第5戦(1月13日、ドイツ・ポルディング)では、女子15キロインディビデュアル50位、第6戦(1月21日、イタリア・アンテルセルバ)では、7・5キロスプリント66位と日本勢最高順位をマークしています。

小学校2年生のときにクロスカントリースキーを始め、5年前からバイアスロンに転向した大和田選手。今シーズン残っている世界選手権(3月3日、13日、ロシア・ハンティマンシク)とワールドカップ第9戦(3月17日、20日、ノルウェー・ホルメンコレン)に向け「どちらも40位以内に入る」とワールドカップでは世界ランキングに入るポイントを獲得できる)で日本のオリンピックの出場枠が広がる。最終的には2014年ソチオリンピック(ロシア)出場を目指したい」と語りました。

広報 はちまんたい

Mar.2011 No.123

CONTENTS

- 目次
- 02 Zoom Up 人 倉金純也さん
- 03 Front Topics 大和田いつか・冬季アジア大会で銅メダル
- 04 Special Issue インターハイの軌跡
- 14 Sports 市選手快進撃続く
- 15 NEWS&INFORMATION 第3回「愛」をテーマにした川柳全国公募・市内の児童2人が入選/年度末の日曜と水曜夜に本庁窓口を臨時開庁します
- 16 話題ピックアップ 市教育振興運動推進大会/三ヶ田礼一杯市ジュニアスキー選手権大会 ほか
- 18 福祉ネットワーク 保健のひろば 介護のココロ 環境のみらい
- 19 まちの企業探検隊⑬ エナーテック榎東北支店 われらスポーツ少年団No.10 松尾ジュニアスキースポーツ少年団 広報クイズ
- 20 博物館だより 図書館だより
- 21 よろこび おくやみ 人口の動き 交通事故件数など
- 22 INFORMATION お知らせ
- 24 八幡平いにしへの宝 荒屋八幡神社鰻口



倉金 純也 さん

くらがね・じゅんや 34歳 畑

◎profile

昭和51年神奈川県生まれ。平成17年に八幡平市(旧松尾村)に移り住む。LODGEクラブマンに勤務する傍ら、日本テレマークスキー協会公認スクール(CLUBMANテレマークアカデミー)校長を務める。昨シーズンは、同協会公認レースポイント国内総合6位に入る。尊敬する人は、父・郁夫さん。好きな言葉は「一期一会」。身長177センチ、体重63キログラム。血液型B型のしし座。

昨

シーズンは、この大会に出るために、取り組んできた。代表に選ばれてうれしい。3月16日からノルウェーで開催されるテレマークスキー世界選手権の参加が決まった。テレマークスキーは、踵がフリーになるのが特徴。競技では、滑る・走る・飛ぶなどスキーのすべての要素が要求されるとともに、ゲート通過やジャンプ着地のときには、前足と後足の間に靴一足分以上の間隔を開けたテレマーク

テレマークスキーの世界選手権日本代表へ

姿勢をとらなければならぬ。倉金さんがこのスキーに出会ったのは6年前。「最初は、スキーに乗る感覚の違いでうまく滑れなかった」ことが、倉金さんをテレマークスキーに引き込み、レースに出るまでになった。今では、仕事をすることも欠かせない相棒だ。「大会では、攻めの気持ちで滑りきりたい。1桁順位が目標」と倉金さん。テレマークスキー発祥の地・ノルウェーで、日本代表として世界の舞台に挑む。



今月の表紙

第60回全国高等学校スキー大会は2月6日から10日まで八幡平市を舞台に行われました。齊藤由美佳選手(秋田・花輪3年、田山中卒)は、最終日の10日、女子クロスカントリレーリレーで同校第2走として出場。地元の大きな声援を力に変えて力走し、見事3位に入賞しました。(関連記事4~13頁)